

## シンポジウムのお知らせ

第 38 年会  
年会長 久保 真一  
(福岡大学医学部法医学教室)

早春の候、会員の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて。第 38 年会の準備を進めているところですが、シンポジウムの概要が決まりましたのでお知らせいたします。

平成 29 年に刑法が改正され、性犯罪が厳罰化されました。性犯罪に対する社会の厳しい姿勢が改正に繋がったものと考えます。性犯罪に薬物を用いる事例も多く、そのような場合、被害者が性犯罪を受けたことも記憶が曖昧となる場合があります、犯罪事実の証明には、薬物検査が重要です。そこで今回の年会では、「デートレイプドラッグの現状と課題」と題して、下記のようにシンポジウムを企画しております。

今後、会員の皆様の薬物分析の一助となればと思います。多くの皆様の年会への参加をお待ちしております。

### シンポジウム

#### 「デートレイプドラッグの現状と課題」

座長

清水 恵子 (旭川医科大学法医学講座)

片木 宗弘 (大阪府警科学捜査研究所)

1. デートレイプドラッグとは  
清水 恵子 (旭川医科大学法医学講座)
2. デートレイプドラッグ被害の実態  
長井 チエ子 (にれの木クリニック)
3. 科学捜査研究所の取り組み  
志摩 典明 (大阪府警察本部科学捜査研究所)
4. 法医学教室の取り組み  
Brian Waters (福岡大学医学部法医学教室)